

GUITAR AMPLIFIERS/BUILT-IN

興奮のブラックフェイス。Fはウォームな音質が基調。

F100-212

¥115,000

マスターボリュームタイプのBとノーマルなAの両チャンネルに3バンドトーンコントロール。さらにヴォリュームにはプルファット、トレブルにはプルブライートのブーストスイッチも。パラメトリックイコライザーを加えてサウンドレンジは最大。とりわけファンキイに鳴らしたい。30cmスピーカーを2本マウントし、すっきりとした立ち上がりを実現した100Wrmsモデル。



- **VOLUME+PULL FAT** :チャンネルA用ヴォリューム。入力感度が低いのでクリアなサウンドになる。また、このプを事前に引くとPULL FATがスイッチオン。中域をブーストすることによって、ファットで豊かすぎるサウンドが得られる。
- **TREBLE+PULL BRIGHT** :チャンネルAの高域用トーンコントロール。レベルアップによって明るく鋭いサウンドになる。また、このプを事前に引くとPULL BRIGHTスイッチがオン。超高域がブーストされメタリックな音色が得られる。
- **MIDDLE** :チャンネルAの中域用トーンコントロール。レベルアップにつれて豊かでメリハリのあるサウンドになる。
- **BASS** :チャンネルAの低域用トーンコントロール。レベルを上げるに連れてヘヴィで深い響きのサウンドになる。
- **INPUT-HIGH** :高感度 (Ach -38dB PULL FAT & PULL BRIGHT off, Bch -52dB PULL FAT & PULL BRIGHT off)。高音ビードダンス (1MΩ)。ディストーションサウンドには欠かせない。入力信号の小さな楽器でもフルに鳴らさし、ドライブしたディストーションも思いのままに得られる。
- **INPUT-LOW** :低感度 (Ach -26dB PULL FAT off PULL BRIGHT off, Bch -40dB PULL FAT off PULL BRIGHT off)。低音ビードダンス (60KΩ)。比較的ディストーションしないクリア

- な音質が特徴。キイボードなどの接続にも最適だ。
- **A/B SELECT SW** :チャンネルA、Bをワンタッチで切り換えられる。インプットにプラグを差し込んだまじ切り換えができて便利。フットスイッチによる切り換え操作もできる。
- **GAIN+PULL FAT** :チャンネルBのプリアンプヴォリューム。入力感度が高いため、ヴォリューム2-3あたりから徐々にディストーション。マスターボリュームとの組み合わせで、音量に関係なくワイルドなディストーションが可能。さらにプルファットスイッチも兼用。事前に引いてスイッチON。豊かすぎるサウンドが得られる。
- **MASTER VOLUME** :チャンネルBのマスターヴォリューム。ディストーション、音質などを変化させずに音量のみコントロール。小さな音量でもハードディストーションが可能だ。
- **TREBLE+PULL BRIGHT** :チャンネルBの高域用トーンコントロール+超高域をブーストするプルブライツスイッチ。

パワー:100Wrms(200W peak) @4Ω
 スピーカー:30cm (JA3606, 8Ω) ×2
 インプット:2ch(A, B) 2in(HIGH, LOW)
 入力感度・インピーダンス:HIGH A(-38dB-1MΩ), HIGH B(-52dB-1MΩ), LOW A(-26dB-60KΩ), LOW B(-40dB-60KΩ) @0dB=0.775V, VOLUME & TONE max, PULL FAT & PULL BRIGHT off, EQUALIZER flat, at 1kHz
 アウトプット:SPEAKER OUT (phone jack) ×2, DIRECT OUT (phone jack)
 フットスイッチジャック:A/B SELECT, REVERB
 コントロール:A:VOLUME, PULL FAT, TREBLE, PULL BRIGHT, MIDDLE, BASS, B-GAIN, PULL FAT, MASTER VOL., TREBLE, PULL BRIGHT, MIDDLE, BASS, A & B-PARAMETRIC EQ (LEVEL, Q, FREQUENCY), REVERB, A/B SELECT SW
 定格電源電圧・周波数:100V・50/60Hz
 定格消費電力:90W
 サイズ:68.7W×56.0H×28.0Dcm
 重量:28kg
 付属品:VINYL COVER, FOOT SWITCH, CASTOR

- **MIDDLE** :チャンネルBの中域用トーンコントロール。
- **BASS** :チャンネルBの低域用トーンコントロール。
- **PARAMETRIC EQUALIZER LEVEL** :FREQUENCYノブで決めたイコライジングポイントのレベルをコントロール。10個でブースト、1個でカット、0でフラットな状態になる。
- **PARAMETRIC EQUALIZER Q** :イコライジングの周波数帯を広くとるか狭くとるかを決める。全体的なイコライジングにも局部的なイコライジングにも自由自在にセット可能だ。
- **PARAMETRIC EQUALIZER-FREQUENCY** :イコライジングポイントを決めるノブ。100Hzから5kHzまで連続可変で設定できる。
- **REVERB** :リバーブ=残響効果をつけ加えるためのノブ。
- **POWER SW** :電源スイッチ。ONポジションは上下に2つ。電源位相スイッチも兼用。ノイズの少ない方にしておく。

38cmスピーカーを1本マウントした100Wrmsタイプ。深い響きと解像力が魅力。A、B両チャンネルに独立したトーンコン、プルファットSW、プルブライツSWも装備。

F100-115

¥125,000

A、Bの2チャンネルをスイッチ操作のみで切り換え可能。しかもBチャンネルはマスターボリュームタイプ。さらにA、Bの両チャンネルに3バンドのトーンコン、プルファット、プルブライートのブーストスイッチを装備。音作りの可能性は最大。時にはジャジーに弾いてみたい。38cmフルレンジスピーカーをマウントし、最低域に深みを持たせ、バランスのよい音像を表現する100Wrmsモデル。



パワー:100Wrms(200W peak) @8Ω
 スピーカー:38cm (JA3802, 8Ω) ×1
 インプット:2ch(A, B) 2in(HIGH, LOW)
 入力感度・インピーダンス:HIGH A(-38dB-1MΩ), HIGH B(-52dB-1MΩ), LOW A(-26dB-60KΩ), LOW B(-40dB-60KΩ) @0dB=0.775V, VOLUME & TONE max, PULL FAT & PULL BRIGHT off, EQUALIZER flat, at 1kHz
 アウトプット:SPEAKER OUT (phone jack) ×2, DIRECT OUT (phone jack)
 フットスイッチジャック:A/B SELECT, REVERB
 コントロール:A:VOLUME, PULL FAT, TREBLE, PULL BRIGHT, MIDDLE, BASS, B-GAIN, PULL FAT, MASTER VOL., TREBLE, PULL BRIGHT, MIDDLE, BASS, A & B-PARAMETRIC EQ (LEVEL, Q, FREQUENCY), REVERB, A/B SELECT SW
 定格電源電圧・周波数:100V・50/60Hz
 定格消費電力:90W
 サイズ:63.4W×60.0H×28.0Dcm
 重量:31kg
 付属品:VINYL COVER, FOOT SWITCH, CASTOR

驚異のサウンドレンジを創るパラメトリックEQ装備。

COLUMN 4: 一気にFシリーズギターアンプで音を作ってみよう。

Fギターアンプをフルに活用するためには、単に各ノブの働きを理解しただけでは充分と書けない。各ノブがどのように関連して、1つのサウンドを形成しているかを問題だ。そこでF100-112を使って、具体的なサウンドプログラムの方法を教えてしまおう。ここではディストーションサウンド

の3つのバリエーションを作ってみよう。ギターはハンパキング2PU型のヤマハSG2000と、シングルコイル3PU型のヤマハSC1200を試してみた。ディストーションさせるわけだから、必ずインプットHIGH、チャンネルBを使う。まずトーンコントロールとPULL FAT、PULL BRIGHTの2つのプー

ストスイッチで基本的な音色を決める。次にGAIN、MASTER VOLと先のPULL FATのかねあいで音の太さやディストーションの深さを決める。最後にパラメトリックイコライザーで仕上げるといった手順だ。

■オールドウイブ派フルディストーションに挑戦:S.C.1-2

ハードロックのリードギターといえは何ともいってもディストーションサウンド。とりわけフルにディストーションさせてサステインを効かせた上で、イコライザーによって絞り込む。例としてマスターボリュームで気持ちいい音が得られる。例えばクイーンやボストン。そしてヴァンヘイレンなどのリードギターに代表されるサウンドだ。まずハンパキング2PU型ソリッドギターの場合(S.C.1)。フロントPUを使う。トーンコントロールはパラメトリックイコライザーで音を仕上げる前提として、中低域を上げぬみにセットしておく。TREBLE 4.5、MIDDLE 8、BASS 9ぐらいが適当だ。次にともかくGAINは10。フィードバック効果を得るためにMASTER VOLUMEも3以上にしよう。ハンパキングは出力があり、もともと太い音だからPULL FATはいらない。さてパラメトリックイコライザーでは、1kHz付近を強烈にブーストし、相対的に他の周波数帯からかわたせよう。これで、箱に押しこめたいようなブラッティクサウンドが得られる。LEVEL+5、Q4時半、FREQUENCY 1kHzだ。REVERBも深めの4.5ぐらいが適当だろう。



■アメリカン派ライトディストーションに挑戦:S.C.3-4

ひと昔前まで、アメリカン派、とりわけウエストコーストといえはまるで夜空のような明るさと軽さを理想としたものだ。しかし、最近ではその明るさや軽さのなかに、じわじわとハードな感覚が取り入れられはじめたようだ。そう、イギリスムシかり、ファイア・フォールムシかり。ライトでもタイト。バックキックから避離しないながらも、充分にドライブするリードギター。そんなディストーションサウンドを作ってみよう。まずハンパキング2PU型ソリッドギターの場合(S.C.3)。ディストーションサウンドとはいってもヘヴィ過ぎるはいないから、トーンコントロールでは低域を絞っておく。TREBLE 5、MIDDLE 8、そしてBASS 0だ。ディストーションは深くかけた方がサステインが効いてくるので、GAINは10。PULL FATもオンにしてサステインさせよう。あらかじめBASSを絞ってあるから重くなる心配はない。さて、パラメトリックイコライザーは、ややザラついたアメリカン風を感じ出すにしておく。LEVEL+2、Q5時半、FREQUENCY 5kHzで、5kHz付近を少し持ち上げてやればよい。REVERBは3ぐらいが適当だ。



今度は同じサウンドをシングルコイル3PU型ソリッドギターを使って作ってみよう(S.C.2)。PUはセンターがよい。シングルコイルはハンパキングに比べて高域特性が良く、わりや、やや鋭が細く出力も小さい。だからGAIN 10でPULL FATもオン。やはりフィードバックを得やすくするためにMASTER VOLは3以上にしよう。これだけでかなり太い音が得られるから、トーンコントロールはハンパキングの場合とはほぼ同じでOK。TREBLE 4.5、MIDDLE 8.5、BASS 9だ。最後にパラメトリックイコライザー、やはり1kHz付近を強力にブーストするために、LEVEL+5、Q4時半、FREQUENCY 1kHz。REVERBも4.5ぐらい。

■フュージョン派メロウディストーションに挑戦:S.C.5-6

今やフュージョンミュージックを除けばは音楽シーンを語れない世の中。決してエネルギー過ぎることもなく、かといってまとめているわけでもない。適当に手持ちサウンドがわけてあるわけだ。このフュージョン系のギターサウンドにもディストーションは不可欠の要素。しかしハードロック系と違ってただただディストーションしていればよいというものではない。音の種類が多く、いわゆる弦とびのフレーズを使うから、1個1個の音符がはっきり聞き分けられるような音質にしなければならぬ。しかも、強調するパートと控えめに弾くパートをはっきりとさせるアーティキュレーションが可能でなければならない。ハンパキング2PU型ソリッドギターの場合S.C.5の時ようにセットする。使うPUはフロント。バックキックの時、つまりギターヴォリュームを下げる時に、ほどよいコードバランスが得られるようにトーンコントロールをセットする。TREBLE 7、MIDDLE 7、BASS 5ぐらいが適当だ。これでもまだギター側のヴォリュームを絞った時に高域が落ち込むように、TREBLEをさらに上げると、PULL BRIGHTを入れよう。ディストーションは深過ぎてもいけないのでGAIN 8。PULL FATは使わない。パラメトリックイコライザ



では中域をなだらかにブーストして、ハイポジションでのファズっぽい響きとローポジションの走り過ぎを防ごう。LEVEL+2、Q1時半、FREQUENCY 500Hzが適当だ。REVERBは音のディテールをほかすので使わなくてもよい。シングルコイル3PU型ソリッドギターの場合は少し違ってくる(S.C.6)。PUはフロントでもいいが、メロウイコライザーを入れてみる。ディストーションは深過ぎてもいけないのでGAINは10に上げる。それでもディストーションが足り

